



各位

会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト
 代表者名 代表取締役社長 武長 太郎
 (コード：9266 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部長 高橋 広宜
 (TEL. 047-302-5115)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月7日開催の取締役会において、新規業態の出店による店舗数の増加に伴う販管費の増加などの最近の業績動向等をふまえ、当初計画した利益を下回ることが想定されることから、以下のとおり、2019年5月14日に公表した業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年3月期業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,211	400	359	218	35.30
今回の修正予想 (B)	8,260	328	286	179	29.10
増減額 (B - A)	48	△72	△72	△39	
増減率 (%)	0.6	△18.0	△20.1	△18.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	7,078	289	286	122	19.84

(注) 当社は、2018年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合及び2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

売上高は、飲食既存店が好調に推移したほか、期首の出店計画12店に対し、新規業態を含む14店（2店増）の出店や出店時期の前倒しによる売上寄与もあり、当初計画を上回る見込みであります。

しかしながら、新規出店に伴う消耗品・採用費などの店舗開業経費の増加に加え、人件費・減価償却費・地代家賃などの経費が増加したほか、飲食事業の新規業態について「大衆ジギスカン酒場ラムちゃん」は好調に推移した一方、「爆辛スパゲッティ専門店青とうがらし」が想定より下回って推移したことにより、営業利益が当初計画に対して減少する見込みであります。

また、営業利益の減少による経常利益の減少に加え、第1四半期で「屋台屋博多劇場六本木店」において、周辺地域の再開発によるテナントの立ち退きに伴う、当該店舗の固定資産についての特別損失（減損損失）を計上したことにより当期純利益についても当初計画に対し減少する見込みであります。

(業績予想に関する注意事項)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上